

ソリューションプロバイダー



顧客の求める BIM の構築をサポートする BIM ソリューション—シスプロ

近年、「建物ライフサイクル」や「BIM (Building Information Modeling)」という概念が建築業界で良く聞かれるようになった。建物3次元モデルを、建設の企画段階から施設管理までの幅広い場面で活用することが提唱されている。

BIM を実現するための IT 技術は多岐に渡るが、その IT 技術を正しくマネージメントすること、すなわち、「情報が上流から下流まで正しく伝わること」を実現するのは、建物の3次元モデルに属性情報を付加すること、そしてそれを誰でも使えるように IT 環境を整備することが重要である。

◆求められている BIM を具現化

シスプロは、設備施工図 CAD「DesignDraft」などソフト開発をはじめ、モデル入力・施設管理・IT インフラ構築という4つのビジネスを柱とし、

BIM の具体化を支援している会社である。同社は「建設工程全般における3次元 CAD システム有効活用」をめざし、そのソリューションサービスは計画・設計・施工のエンジニアが使用するグループウェアシステムの開発から建物維持・管理に必要な施設管理・中央監視システムの開発、そして導入支援にまでおよび、あらゆるフェーズでの顧客満足を実現する。

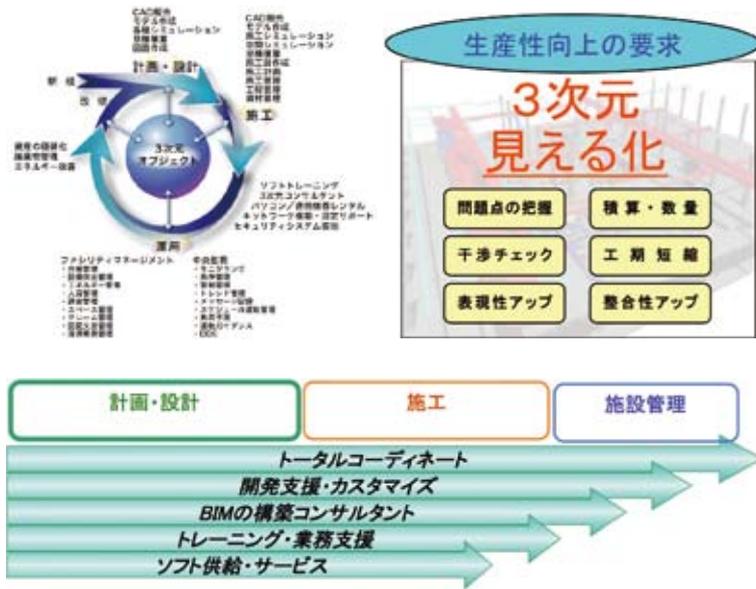
◆3次元 CAD で何をするか？

BIM 概念の浸透により、3次元モデルの作成とその活用には非常に注目が集まっている。2次元データと比べて、属性情報を持ち、バーチャル環境で建物モデルを可視化できる、3次元 CAD モデルの利用価値が認識されてきたと言えるであろう。

しかし「3次元は面倒」「今の2次元 CAD で十分」「何ができるのかわからない」など3次元 CAD の導入に高いハードを感じる企業は少なくないのが現実である。

◆高いエンジニアリング力を持つ技術者こそが3次元を有効化できる

3次元 CAD の活用はそこに目的を意識することで飛躍の可能性が高まる。高いエンジニアリング力を持つ技術者こそが3次元モデルを有効活用できると同社は考えている。新たな生産性の向上をめざすエンジニアの支援をすべく、同社はお客様・エンジニア・プロジェクトマネージャー・協力業者が情報共有する環境を構築し、「見える化」によりフロントローディングにおける課題抽出、合意形成を実践する。そして高い生産性を実現するプロセス作りをする。これがシスプロの BIM ソリューションである。



■問合せ先

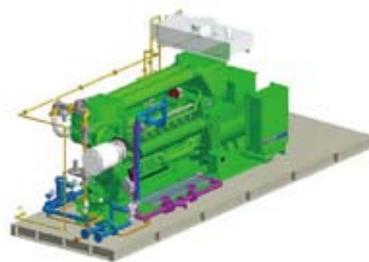
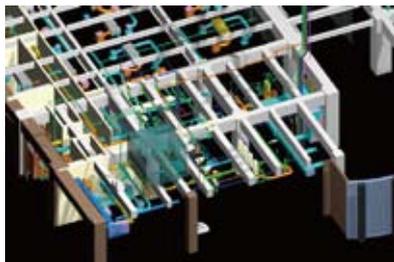
株式会社 シスプロ

TEL.044-223-3860

<http://www.syspro-net.co.jp/>

3次元CAD	原子炉廃止措置支援システム	MicroStation MCL
	工場内気流解析支援システム	MicroStation MCL
	プラント向け電気設備アプリケーション	MicroStation MCL
	配管内積塵水量評価アプリケーション	MicroStation MCL
施設管理 (FM)	空調機械室内機器管理システム	XVL J/KVA
	テナントビル向け施設管理システム	VB Delphi
	リアルタイム中央監視プログラム	C

ソフト開発事例



3D エンジニアリング：モデル入力事例